

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	岩手町民が安全に安心して利用でき快適な暮らしを支える道づくり(防災・安全)												
計画の期間	平成27年度～平成31年度(5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	岩手町												
計画の目標	道路整備を行い、安全で安心な道づくりを行うことで道路機能の向上を図ると共に交通安全や防犯に役立つ施設の整備を行う。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	900	A	900	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H27当初	H29末	H31末
1	歩車共存(対策が必要な道路について、歩行空間の確保等行った箇所の整備率) 歩車共存 対策済箇所数と対策が必要な歩行空間箇所等箇所数の割合を算出	0%	60%	100%
2	舗装修繕(対策が必要な舗装道箇所について、修繕を行った箇所の整備率) 舗装修繕 対策済箇所数と対策が必要な舗装道路箇所数の割合を算出	0%	60%	100%
3	施設修繕(対策が必要な道路側溝箇所について、修繕を行った箇所の整備率) 施設修繕 対策済箇所数と対策が必要な道路側溝箇所数の割合を算出	0%	60%	100%
4	法面防災(対策が必要な道路法面箇所について、防災対策を行った箇所の整備率) 法面防災 対策済箇所数と対策が必要な道路法面箇所数の割合を算出	0%	60%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	道路	一般	岩手町	直接	岩手町	市町村 道	交安	川口駅通り線 ほか2路線	歩車共存 L=1.1km	岩手町	■	■	■	■	■	302		—
	A01-002	道路	一般	岩手町	直接	岩手町	市町村 道	修繕	久保桐ヶ久保線 ほか10 路線	舗装修繕 L=7.5km	岩手町	■	■	■	■	■	200		—
	A01-003	道路	一般	岩手町	直接	岩手町	市町村 道	修繕	御堂新田線 ほか6路線	施設修繕 L=1.5km	岩手町	■	■	■	■	■	100		—
	A01-004	道路	一般	岩手町	直接	岩手町	市町村 道	修繕	土滝線ほか	法面对策 L=0.3km	岩手町	■	■	■	■	■	280		—
	A01-005	道路	一般	岩手町	直接	岩手町	市町村 道	除雪	沼宮内一方井線ほか	除雪（機械）	岩手町		■	■			18		—
	小計																900		
	合計																900		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
事業担当課において事後評価を実施	令和2年11月
	公表の方法
	町ホームページに掲載

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none">・狭隘道路における歩行空間の確保を図ったことにより、歩行者の安全性が向上した。・舗装及び道路施設の修繕、並びに法面对策を実施したことにより、道路利用者の安全性と円滑な走行性の確保が図られた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○特記事項（今後の方針等）

新たな社会資本総合整備計画を策定し、引き続き各事業を実施していく。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	歩車共存（対策が必要な道路について、歩行空間の確保等行った箇所の整備率）	
	最終目標値	100%
	最終実績値	67%
2	舗装修繕（対策が必要な舗装道箇所について、修繕を行った箇所の整備率）	
	最終目標値	100%
	最終実績値	90%
3	施設修繕（対策が必要な道路側溝箇所について、修繕を行った箇所の整備率）	
	最終目標値	100%
	最終実績値	75%
4	法面防災（対策が必要な道路法面箇所について、防災対策を行った箇所の整備率）	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%